

びふか

議会 だす こんにおは

2004 / 10

第51号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



元気ハツラツ学園生

《第15回美深のぞみ学園祭》

主 な 内 容	第3回定例会	行政報告・発議・条例改正・同意・認定	2～4P
		補正予算 緊急質問～村山議員～	
		請願・意見書	5P
		一般質問 4氏が登壇	6～8P
	議会広報研修会		8P
	函 岳 の め	議員投稿～菅野議員	9P
	委員会レポート		10～11P
	私からのメッセージ	寺田 勤さん 匂坂澄子さん	12P

第3回定例会

町村合併問題、当面は「単独」の姿勢を示す

議会発議により「自主自立調査特別委員会」設置

平成16年第3回定例会は、9月14日から16日の3日間を会期として開催され、町長より「中川郡三町村任意合併協議会解散」と「台風18号の被害状況」について行政報告がされたあと、「美深町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正」ほか3議案、同意1件、議会側から請願、発議各1件、承認2件、意見書案3件が審議され、いずれも原案可決。平成15年度各会計決算認定2件は継続審査となり、一般質問は4氏が登壇した。

行政報告

中川郡三町村任意合併協議会解散について

本年4月24日に任意合併協議会を設置し、本庁機能の分散、地域自治区制度、選挙区の設置などさまざまな課題について議論を深めたところであったが、選挙区の議員定数について意見が一致せず3町村の合併に向けた法定協議会への移行には至らなかった。

このことについては、対等合併に対する認識の違いや、地域が吸収されるといふ2町村の懸念が強く働いたものと思われる。

本町としては、現行の合併特例法のもとでの合併は

時間的に選択できないと理解している。

当面は、行政改革を徹底して厳しい環境に対応していく。

台風18号の被害状況について

9月8日の台風は、全道ほぼ全域を暴風雨に巻き込み、本町においても強風により一時1000戸以上が停電となり、農作物、農業施設、市街地区の住宅関係、教育関係施設、林業関係の被害は、総計すると約4億円と見込まれる。

町有施設の被害については、早急に予算補正をし復旧に努める。

質問 今回の台風は美深町にとつてかつてない被害であり、激甚災害といえる。



補正予算で、農業被害には運転資金対策を講じるべきで、町・農協の利子補給を考えるべきではないか。

町長 補正予算については、町有建物の災害復旧に重点を置く。

農業被害については、農業共済や農作物への影響調査のために、少し時間をおいて措置したい。

質問 災害対策本部の設置が必要だったのでは。

町長 本部の看板は掲げなかったが、体制としては対応した。

各戸に台風の広報活動をし、職員を総動員させて全町をパトロールさせた。

質問者 酒井、倉兼、林、諸岡、藤守護議員

発議

美深町自主自立調査特別委員会設置に関する決議

町は、7月に中川郡三町村任意合併協議会解散に伴い、当面は単独での姿勢を示していることから、議会としても議会の活性化と自主自立のまちづくりに関する調査を目的とした特別委員会（倉兼政彦委員長・山口清副委員長）を本定例会で設置した。

（全員賛成）

少子高齢化時代に対応

紙おむつ使用世帯の負担軽減

条例改正

美深町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

改正の要旨

現在、紙おむつは、炭化ごみ袋6㍓、12㍓の袋を利用しているが、紙おむつ専用の炭化ごみ袋（20㍓・40㍓）を新たに製作し、紙おむつ使用世帯の負担軽減を図る。（12月1日から実施）

質問 紙おむつの処理体制で近隣町村の取扱いはどうなっているのか。

住民課長 下川・名寄は、専用の袋を使用、風連は専用袋を作っていないが、申請に応じて月何枚という現物支給の補助をしている。質問 炭化ごみ処理場の稼働状況と当町からの搬入状況はどうなっているか。

住民課長 4月から8月末現在で約200万㍓処理しており、そのうち当町から



は、21万3590㍓搬入されている。

質問 少子高齢化時代、せめて紙おむつの部分だけでも無料にはできなかったのか。

住民課長 下川・名寄と同額にしたものである。紙おむつを使っている家庭だけが無料化ということになれば、負担の公平化から逸脱することになるのである。

はないかという考えから、袋は大きくしても金額は生ごみの小さい袋の値段と同じということでは解いたくない。

質問 飲食店や肉店など多量の生ごみのある業種にも何らかの配慮が必要では。

住民課長 事業所は本来自分の責任で処理することになっている。

それを、1回10袋までの炭化ごみは、一般家庭と同じように収集処分していることを理解願いたい。

のぞみ学園に頼んでいるところもあり、それはそれなりに十分利用いただきた

い。

質問 紙おむつの炭化ごみの対象となる世帯数はどの程度か。

住民課長 世帯数の正確な数字はつかないが、有料化する際の調べでは乳幼児だけで60世帯ほどとおさえている。

高齢者を入れるとさらに増える。

質問 ごみの問題については、住民との話し合いや協議をどのように進めたのか。

住民課長 有料化に向けて

教育委員会委員 山口信夫氏の

任命に「同意」



山口信夫氏

9月30日をもって、本平武士氏が任期満了となることから、この後任について同意を求められ、議会は山口信夫氏（58歳）を任命することに同意した。

作業を進める中で、町内会・自治会衛生部の方々にも足を運んでもらい議論を進めた中での決定である。

（全員賛成）

質問者 藤守、今泉、岩崎、酒井、小田中議員

認定

平成15年度美深町各会計決算及び平成15年度水道会計決算の認定について

平成15年度一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・簡易水道事業特別会計・下水道事業特別会計の歳入歳出決算の認定は、決算審査特別委員会（酒井久夫委員長）を設置し、平成16年11月上旬に決算審査

議会を傍聴してみませんか

平成16年第4回定例会は12月中旬に開かれる予定です。

補正予算

一般会計補正予算

補正予算第4号は、歳入歳出それぞれ297万円の追加。

主な内容は、行政改革協議会委員の費用弁償、教職員の時間外勤務手当訴訟事件に係わる弁護士委託料、炭化と一般ごみ袋の追加作製、東部給水施設避雷器強化、小中学校整備基本構想策定委員の費用弁償、幼稚園ボイラー取替工事費用、体育館周辺の危険樹木保護作業委託など。

補正予算第5号（追加議案）は、台風18号の被害を受けた公共施設の修繕費等の経費を追加するもので、歳入歳出それぞれ2264万円追加。

補正後の歳入歳出予算の総額は48億3298万円となる。

主な質疑

質問 役場前道路の改良に關しては、駅前通についても関係機関との協議はあるのか。

建設課長 今年度調査し、

来年度から道と協議するが、駅前通との関連は、調査設計終了後に協議したい。

質問 幼稚園のボイラー取替は、幼保一元化実現後にも対応できるものか。

教育次長 ボイラー取替工事は、幼保一元化までは想定していない。

修理が効かないので緊急に取替える。

質問 学校施設整備に向けてコンサルタントに委託しているが、小中学校整備基本構想策定委員会との関連は。

教育次長 委託業者の報告を受けて、地域の考え方の意見調整する委員会。

質問 行政改革推進委員会の構成員は。

町政推進室長 委員の構成は、住民代表、団体代表者を予定。

質問 道路改良で骨材再利用により事業費の減額があるが、ほかに骨材再生利用できるものはあるのか。

助役 骨材の再利用では、使用後の影響など状況をみて問題なければ公共施設等にも再利用したい。

質問 台風18号で被害を受

けた町の施設等で保険加入されている範囲は。

財政課長 建物はほとんど加入しているが、使っていない古い校舎は加入していない。

質問 被害は家屋の屋根が多いが、少ない町内業者で対応できるのか。方策は。

助役 他の方策は考えていないが、生活に支障のない対策はとられている。

質問 旧恩根内中学校体育館は、地域に無償で払い下げては。

財政課長 地域と町でも一部使用しているので使える期間は効果的に使ってもらおう。

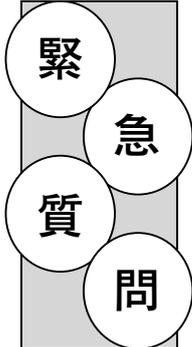
（全員賛成）
質問者 今泉、菅野、藤守、諸岡、倉兼、山口、斉藤、林議員

介護保険特別会計補正予算 保険事業勘定は、平成15

年度介護保険、介護給付費の実績確定により国・道負担金、支払基金交付金が確定し、それに平成15年度余剰金相当を介護給付費準備基金に積立し歳入歳出それぞれ483万円を追加し、

総額4億3830万円となった。

（全員賛成）



村山議員

台風18号の被害対策について

質問 行政報告の中で、農作物施設等の被害程度について説明があったが、農作物の中で、ソバ・デントコーンなどについては、共済保険の対象にならないこともあり心配される。

特にソバについては登録程度によってかなりの被害が予想される。

したがって、農作物施設など全般的な対策について、再生産のできる対策を講じるべきではないか。

また、農業以外については、商工会で商工業者について自己申告による調査を行っており、一般住宅施設等の被害についても、早急

な対策が必要と思うが、安心して冬を迎えられる対策を伺う。

町長 50年ぶりの台風で全町の大きな被害があったが、台風直後、全職員による被害調査をした。

その後、被害が増えているようであり、更に再調査を考えている。

農作物の関係について、共済に該当しないソバなどについては、全般的に値段が上がっているようなので、状況を十分見ながら対策を講じたいと思っている。

農作物の被害については、農業生産額の10%程度で、被害額にして1億2000万円くらいと思う。

公費として災害対策を行ってきた今までの例では、30%の減収が基準であった。

被害ごみの受け入については、環境整備の観点から9月30日までとしたい。

倉庫などの倒壊の受け入は、10月18日から23日まで行う。

道の対策と合わせて公平な対策をとっている。

意見書

採択しました

意見書を提出

今定例会では、次の3件の意見書を可決し、各省庁に提出した。

(意見書の内容は、紙面の都合上要約し掲載する。)

道路整備に関する意見書
 北海道の道路整備は、活力ある地域づくりや安全で快適な生活環境づくりを支援する上で、より一層重要となっている。

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書

北海道の森林は、本道面積の7割を占め、豊かな生態系を育むと共に、地域の産業資源となるなど重要な役割を果たしている。

森林吸収源対策を着実に進めていくとともに、これらを通じて、林業・木材産業の活性化、山村地域振興を図ることが極めて重要である。

よって、国においては、温暖化対策税の創設を図り、その税収の活用目的に森林整備や保全を位置づけるよう強く要望する。

提出者 今泉議員
 賛成者 村山議員、宮岡議員、林議員、南議員

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣

郵政公社の国営公社としての機能充実を求める意見書

郵政民営化の基本方針は、「郵便」「郵貯」「簡保」の

郵政公社の国営存続に関する請願書

請願者 美深郵便局長 千葉 智

紹介議員 林 寿一

(審査意見) 郵政事業は「郵便」「郵貯」「簡保」の三事業に

「窓口ネットワーク」を含め、全国一律のサービスを提供しており、高齢化社会にあって郵便局の存在は益々重要になっている。

当町のような過疎地においては、不採算地域として統合・廃止されることのないよう要望する内容で「採択すべきもの」と決した。

特に高規格幹線道路のネットワーク形成は、道内の圏域間の交流・連携の強化、地域経済の活性化、救急医療・災害時の代替ルートの確保など、その役割をしっかりと担うための最重要課題である。

よって、国においては、計画的かつ早期に整備が図られるよう強く要望する。

提出者 今泉議員
 賛成者 藤守議員、菅野議員

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書

北海道の森林は、本道面積の7割を占め、豊かな生態系を育むと共に、地域の産業資源となるなど重要な役割を果たしている。

森林吸収源対策を着実に進めていくとともに、これらを通じて、林業・木材産業の活性化、山村地域振興を図ることが極めて重要である。

よって、国においては、温暖化対策税の創設を図り、その税収の活用目的に森林整備や保全を位置づけるよう強く要望する。

提出者 今泉議員
 賛成者 村山議員、宮岡議員、林議員、南議員

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣

郵政公社の国営公社としての機能充実を求める意見書

郵政民営化の基本方針は、「郵便」「郵貯」「簡保」の

議会に請願（陳情）される方に

1. 請願書（陳情書）は、下記の様式に準じ邦文で作成してください。
2. 請願書には、町議会議員の中から1名以上を紹介議員として署名または記名押印を受けてください。
3. 請願・陳情は、いつでも受付けておりますが、なるべく定例議会開会の5日前位までに提出願います。
4. その他不明な点については、議会事務局に問い合わせ下さい。 電話 2 - 1 6 1 1 (内線 1 8 3)

に関する請願 (請願の内容) 平成 年 月 日 美深町議会議員 園部幹雄 様	陳 情 書 請願者 (代表) 住所 _____ 氏名 _____ (印) 紹介議員 (署名又は記名押印)
--	---

(陳情の場合は「請願」を「陳情」に読み替えてください。)

三事業に「窓口ネットワーク」を含め、効率化を求めて平成19年4月から段階的に民営化することとしている。

郵政事業は全国2万4千700のネットワークを通じて三事業を中心に全国一律のサービスを提供しており、高齢化社会を迎えて郵便局の存在は益々重要になっている。

競争原理のみに基づいた郵政事業の民営化が行われ、

採算性重視となれば、地域の衰退に繋がることが危惧される。

よって、政府においては、国民サービスの低下を招くことのないよう要望する。

提出者 藤守議員
 賛成者 倉兼議員、山口議員、越智議員、岩崎議員

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、金融経済財政政策担当大臣

質 問



質問事項

1. 行財政改革等の取組みについて

今泉 議員

自立のまちづくり 方策は

質問 3町村（美深・音威子府・中川）の任意合併協議会が法定合併協議会移行を待たずして解散し、今後は当面単独（自立）のまちづくりの方向性を打ち出されたが、合併新法（平成17年4月から5ヶ年間延長して合併推進を図る法律）を視野に入れての考えか。
町長 3町村の置かれている立場を相互理解しながらも、法定合併協議会移行で話し合いは不可能との判断から合意解散となった。

従って解散後の合併新法は視野に入れず、小規模自治体ながらも三位一体改革の内容を見極める中で、広域処理を検討しながら行政コストの引き下げに努め、生きる方法を考えたい。
質問 合併特例法に基づく優遇措置が受けられない状況下で、財政事情は一層厳しくなることが予測されるが行政改革の対応は。
また、単独財政シミュレーションを早急に検討公開し、住民との協働推進を図

るべきではないか。

業務委託や行革の 見直しで対応

町長 行財政推進本部会議を立ち上げ、19年度までの起債償還のピークを踏まえ、平成18年までを期間とした行政改革大綱を21年まで延長し、公共施設の運営等の見直しや特別養護老人ホーム民営化に向けた業務委託の推進、更に職員体制と行政機構の見直しなど具体的な検討に入り、単独財政シ

ミュレーションは年内に作成したい。

質問 社会情勢の急激な変化によって一般財源の推移も大幅に変動する現状では、総合計画の見直しをすべきではないか。
町長 年内に平成21年度までの財政見通しの計画が作成されることから、これらとの整合性を見ながら事業計画の手直しで対応したい。



岩崎 議員

質問事項

1. まちづくりの進め方について

職員提案の 「行政評価システム 導入」の行方は

質問 前回は質問したが、最初の平成14年度に4件の職員提案があったなかの一つに、行政評価システムという提案があった。

それについての質問の中では、行政の評価システムというものは、なかなか簡単に実行できない中身である。

下手をするといろいろ間違いを起さざるを得ない

中身になってしまいうから、十分な検討が必要だということ、継続審議している最中だというふうに答弁されていた。

それから約1年が経過したが、その評価システムがどの程度導入までに進んでいるのか。

実施の年度とか、どの辺まで具体的に出てきているのか。

あるいは足踏みの状態でそのままになっているのか。



般



南 議 員

質問事項

1. 美深町単独の行政運営のさらなる行政改革策について
2. まちづくりの一環としてのスポーツ少年団の振興策について

「単独」の行政運営を いかに取り組むのか

質問 中川郡三町村任意合併協議会も解散し、単独での行政運営を当面の間おこなう結果となり、美深町第三次行財政改革大綱で示された行財政改革では物足りない事態が想定される。

町民も美深町が単独の道を選んだことで不安感をもっており、早急に自立プランを示すべきである。

そのなかで人口推計を、今一度精査し実態に近づけた数字で組み立てる必要があるのではないかと。

そして、人口の減少をとどめる施策を示すことが「単独」の結論を出した責任ではないのか。

人口減を最小限に とめる施策に取り組む

町長 合併協議は合併ありきで行ったわけではない。

合併せざるを得ない状況におかれていることは事実だが、無理な合併はすべきではないし、合併しなければどうしようもならないことではない。



行政運営を行う上で一番

の問題は人口であり、人口推計は最悪の情勢を想定し、客観的に認められる数字でなければならぬ。

その上で、できるだけ人口を減らさない施策をとらなければならない。

具体的には、天木跡地に宅地造成をして町外の方に住んでもらうという願いを込めた施策を行っている。それから、農産物二次加工施設を作って働く場所の確保も必要であろう。ケアハウスも民間活力ででき、人口減に歯止めをかける。

「具体的な検討に入った」と理解を

町長 十分、我々行政が評価されてきていると思ってやっているのだが、それにはきちんとしたものを出さないといま言ったシステムが活動しないのではないかと。新しい制度を入れるのはなかなか難しいから慎重にしたいということは、ここ1、2年の私の答弁であったが、今は情報公開時代で、やはり行

けたのではないかと。

民間活力をもっと

行政運営に

質問 民間各種事業団体や農協との連携強化がこれからの行政運営には重要ではないか。

行政と農協の連携強化に

これから対応

町長 農協との話し合いはいろいろ進めている。

農業振興センターを農協に全部利用してもらおう申し出もしている。

政の評価システムというのは必要であるということを確認している。

今は何でも行財政改革ということ聞いているかもしれないが、そのなかでどういう方法でこれを取り入れるかということも議題としていっているので、いよいよ具体的に検討に入ったということでも理解いただきたい。





山口議員

質問事項

1. 町村合併問題について
2. 社会福祉協議会の会費納入願いにみられる問題点と苦情解消のための行政指導について

社協の会費納入に対する自治会班長の苦情について

質問 この7月に「16年度町社会福祉協議会の会費納入のお願いについて」という文書が、自治会・町内会を通じ各班長さんに届いた。それには「社協の会費は全戸加入してくださるようご協力をお願いします」と

あり、会費は一般町民から5000円、特別会費として、町長50000円、議長50000円、町議300000円、町助役300000円、教育長300000円、民生委員200000円、社協役員200000円、各職場管理職100000円と記され、社協役員14名と民生委員26名の名簿が添付されていた。

この文書をもたらした班長さんの中から、「強制的に集めろというのか」、「何で班長がこんなことまでしなきゃならんのか」という苦情が寄せられている。

社協の崇高な目的と活動には誰しもが共鳴するところだが、今回の文書を見る限り非民主的、強制募集の苦情も当然と思うが、改善についての見解を伺いたい。

町民に強制するような文書は不適切

町長 私自身、公宅から自宅に移ってちょうど班長を仰せつかり、最初にきたのがこの文書である。

班長あてに「誰がいくら」ということ。

特に公職者は基本的に特別な寄付ができない情勢の中で、強制的にこのような文書を出すことは不適切ではないかと事務局長に注意したところである。

会費を徴収することは当然だと思うが、なぜ班長にその責務をおしつけるのか。

特殊寄付であれば、役員がいるのだから役員が直接行って集めるのが当然で、班長にその責任を押しつけるのは適切でないということと、来年度以降は十分考慮するよう町から申し入れをした。

その他については、社会福祉協議会としていろいろな意味で町政やまちづくりにご協力いただいていることについては、行政としても感謝しなければならぬと思っている。

おもい「想を練る」ことが肝心

— 議会広報委員会研修 —

8月26日、北海道町村議会議長会が主催する議会広報研修会に参加した。

「議会報づくりの実践

そのヒントと手がかりを得るために、「をテーマとして、和田雅之広報プランナーの講演を聞いた。

議会報は、結果ではなく経過を、くどくなく、しっかりと内容を伝えること。編集者の一人よがりや読者（住民）への思いやりのなさが議会報の欠点でもある。

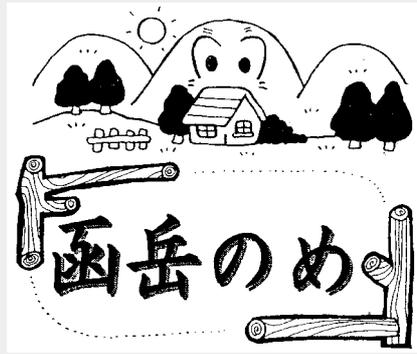
良い議会報の要件は、見て美しく、読みやすく、わかりやすくが大事である。配布された資料に、「文章を書くことをおっくうが人が多い。書けないということではなく、書いたものを、どう評価されるという思いから文章を敬遠し、なるべく書かないようにつとめる。これでは、良い文章を書けるはずがない。名文は、天分がなければ

書けないが、良い文書は、心がけしだいで、誰にでも書けるものであるといわれている。

作文の前には想がある。読んだ後に想がある。心を伝えるとは、この想をどう育てるかにあるのだ。

同じことをいうのにも、微妙な感じが出る表現のしかたを、早くキャッチすることだ。」とある。心して、編集に努めたい。





町歌を うたおう

美深の地からはるか函岳を望むと、深い緑が広がり、その頂上に白い建物（道北リーダー雨雪量計局舎）がうっすらと見える。

その緑がいま変化を見せている。

そろそろ冬を知らせる初雪を見せてくれる気配だ。

函岳は、住民の生活、教育、文化に随分と関わりを持っている。

郷土のうたに、仰げば高き函岳の 美深町歌
仰ぐ函岳夕日にはえりや

美深小唄 仰ぐ函岳宝をうめた 美深音頭

今朝の山鳴り函岳あたり

美深歌謡十二章・恩根内小唄（野口雨情作詞）がある。

校歌では、仰ぎ見る函岳よりも 清水小学校

遠く函岳望み見て 公徳小学校 函岳の空を仰げば 恩根内中学校 函

岳晴れて雲青く 厚生小学校 朝に仰ぐ函岳や 旧美深小学校 朝雲高

き函岳の 美深第二小学校 仰ぐ函岳峰高く

美深小学校 はるか函岳残雪こえて 美中音頭

紫かすむ函岳を 美深高等養護学校 つらなる

みどり函岳に 美深高等学校校歌 にうたわ

れている。



函岳山頂

海拔1129mの函岳は

美深・音威子府・歌登の境界を分岐する位置にあって、

頂上から日本海、オホーツク海、利尻富士を眺めることができる。

また、この雄大な函岳は、四季折々の自然の変わりを

見せてくれる。

ところで、町内で町や学校、町民的な行事が催され

るが、このとき歌われるのは、「千古の森を切り開き 仰げば高き函岳の」と歌われている美深町歌ではなく、国歌君が代である。かつて町民に歌われた美深町歌をいま一度読み返して見たいと思う。



敷島から函岳を望む

議員投稿

今から百年ほど前には、明治維新というものがあって、日本は封建制度から文明開化に移った。

維新を遂行し、文明開化を招来する努力をしたのが若き「維新の志士」であった。



菅野議員

自律に向け 「一人一人自力更生」で

明治・大正・昭和・平成

と時代の移り変わりにより、今が平成維新の時と考えなければならぬ。

この平和な時代でも世界各国でいろいろ問題を抱えている。

今は亡き「ジョン・F・

私は、今の日本、我が町を見るとき、一つの大きな転換期を迎えていると思う。世界も同様に情勢は必ずしも安定しているとは思えない。

ケネディ」が就任時に言われたことは、「国民に何もできないが、国民は国のために何をするべきか考えるときです」と述べた。我が町も自律に向けては同じだと思う。教育に例えようと、子供たちの成績が良くなければ親は先生が悪いと言いつつ、先生は先生で、家庭が悪いからだと言いつつ、我が町の自律に向けては、まさに「精神の自力更生」をしなければならないと思う。

我が身、我が家庭をかえりみず、ひたすら国家国民のために新しい時代を作りあげたのが若者たちだった。日本の姿は世界各国から認識され高く評価されたという。

こんなことを 調査しました

委員会レポート

総務常任委員会

調査事項 入札制度について

調査月日 平成16年8月24日

調査内容

本町の現行の入札・契約は「指名競争入札」と「随意契約」で執行している。

「指名競争入札」を選択している狙いは、地域経済への波及効果、地場業者の育成等を考えている。

◎今日までの入札・契約制度の改善の概要

・平成7年7月 建設工事等競争入札参加者資格審査及び指名等に関する規程の制定、指名競争入札参加者指名基準及び運用方針の制定

・平成7年10月 建設工事等入札結果の公表、指名業者等の公表廃止

・平成8年4月 建設工事競争入札参加者氏名選考委員会規程の整備

・平成10年4月 設計担当部局と契約担当部局の分離
・平成11年12月 予定価格

の事後公表

・平成13年3月 縦覧受付簿の改正

・平成13年4月 毎年公共工事等の発注見通しを公表

◎今後の取り組み

行政改革部門で具体的な方策を検討する

予定価格の事前公表は、17年度からの予定

美深町建設工設計審査会設置により設計書のチェック機能の強化

調査のまとめ

今日までさまざまな改善を進められてきているが、これらの改革が生かされなかったことを謙虚に受け、次の事柄について更なる改革が必要である。

設計等の見積もりを外部委託している現状であるが、大小に関わらず公文書でとるべきであり、そのための予算措置をして執行すべきである。

入札に関わる職員のモラル、入札業者のモラル等は理事者の断固たる姿勢を持って行うべきである。

社会常任委員会

調査事項 児童生徒指導と心の教育について

調査月日 平成16年7月14日

調査内容

・児童生徒の問題行動の防止対策については、各学校共に常に教職員全体が共通理解に立ち一貫した指導体制をとっている。

・パソコン教育における指導内容については、マナーやモラルに対する指導を行わない、調べ学習・情報検索等で活用している。

また、有害ページへのアクセスにはセキュリティをかけている。

・いじめについては、発生していないが、教職員での共通理解や情報交換を図るよう各校長に指導している。

・不登校の状況については、家庭や地域と連携し状況把握に努めている。

また、長期欠席者には、家庭訪問している。

調査のまとめ
各学校内の運営は、校内

の管理者が行うようになってきているのが現状だが、教育委員会としても早期に情報を受け取るなどして実情・実態の把握に努める必要があると思われる。

いじめ、不登校、生徒の諸問題等については、教育委員会、教職員、管理者等のもと状況把握、月1回の校長会議等に対応され、また地域（青少協等）との連携もされている。

パソコン・インターネットの取り扱いについては、マニュアルにより指導されており各家庭においては、パスワード管理等持ち主の責任管理が必要である。

調査事項 有料ごみの収集状況

調査月日 平成16年7月14日

調査内容

・炭化ゴミの排出量は、平成15年同時期に比べ22・6%減少している。

・住民の排出マナーは、分別の不十分な所もあったが、町職員が委託業者に週2回同行して指導してきている。

・炭化ゴミ袋の6歳の袋が小さいとの苦情があり対応

策を検討中。

調査のまとめ

紙おむつを使用する乳児のいる家庭・老人家庭等の負担が増えているため早急に対応を検討する必要がある。

ごみ分別の冊子については、高齢者には難しいところがある、壁張り用のポスターを作成する必要がある。

各自治会との連携を密にし、住民に分別に対して理解を深めてもらうよう努力していくべきである。

炭化ごみの戸別収集に伴いカラス・キツネ等が市街地が増加が見られ、早急に対策が必要である。



産業常任委員会

調査事項 農地の流動化対策について

調査月日 平成16年8月

23日

調査内容

①流動化の現状と農業者の高齢化に伴う対応

町は、平成14年に美深農協が実施した農業基本調査の農家アンケート分析に基づき、農地流動化対策を進めているが稲作休耕奨励金制度に伴い流動化は鈍化している。

全町10地区営農集団の中で規模拡大希望農家は33戸322ha、反面、離農予想数、さらに今後の離農予想を含めると72戸647haの農地放出面積が予想されるが、そのほとんどは各地区内の規模拡大流動化対応で放出面積確保は可能と思われるが、東栄地区・恩根内地区については地理的条件等から放出面積も多く今後の課題である。

農業者の高齢化に伴う対応については、地区営農集

団を軸とした共同経営や法人化に向けた推進を図るほか、経営規模拡大・新規就農の促進に努めている。

②営農集団農用地利用部会の取り組み現状と問題点
営農集団の内部組織として農用地利用部会は地区内農用地幹旋調整等の活動が行われている。

また、幹旋不調整対応として各地区の代議員で構成された「農用地利用改善事業連絡協議会」が設置されているが、現在まで一度も利用されていない。

平成15年度の各地区営農集団で取り扱った農用地利用権等設定状況は売買9件、賃貸借41件、いずれも昨年より減少傾向にある。

農用地幹旋調整等の活動は営農集団内の農用地利用部会が担当し、行政窓口は農用地利用権設定事務委託を受けた農業委員会の所管事項とされ、その他はすべて営農集団に関わる窓口を町が所管している。

しかし、農用地集積計画など農用地流動化にむけた業務のほとんどを農業委員会が担当する一方で、営農

集団連絡機関である農用地利用改善事業連絡協議会の事務局を町が担当している。調査のまとめ 農業者の高齢化に伴い、農用地の放出面積が増大する傾向にあり、これからは全町的な農用地利用調整の考え方にたち農用地利用改善事業連絡協議会の活動に期待したい。

合併問題調査特別委員会

市町村合併問題にかかる調査研究をするため、平成15年6月3日に、第一回特別委員会を開催した。

委員会に、幹事会、3小委員会を設置、管外視察調査を行いながら、延べ22回の委員会を開催、任意合併協議会の検討課題の協議等合併現行法内における市町村合併を基本に調査、協議を行ってきた。

合併については、当初、上川北部六市町村任意合併協議会、その後中川郡三町村任意合併協議会において協議を重ねた。

特別委員会は、上川北部六市町村合併協議は、地域

が広すぎるとの結論に達し、中川郡三町村合併においては、選挙区議員の設置期間が、法定協議会で結論をすべきとのまとめに達したが、2町村との溝は深く、一致点を見出すことができず、両任意合併協議会の解散を受けて、市町村合併問題調査特別委員会は市町村合併に関する調査を終了した。

議会運営委員会

9月8・16日

第3回定例会において審議する条例改正、一般会計補正予算、各会計決算の認定、追加議案、台風18号被害、請願等の取扱い及び一般質問の内容の確認のほか、会期、議事日程などの議会の運営について協議した。

広報特別委員会

10月7・8・12・21日

第3回定例会に係る議会広報51号発行に向け、編集会議及び起稿・編集・校正の作業を行った。

私からのMessage



第1町内会
句坂澄子

美深は自然がいっぱいで人情味あふれ、私の周りのお年寄りは皆「元気でいるうちはこの歳で暮らして行きたい」と希望しています。花を植えたり、野菜を作ったりの自給自足の生活が一番の健康の源だと思います。

お年寄りも町づくり

町のイベントにも出来る限り参加させていただいており、多くの町民の方々の意見や提言をいただければ、一層意欲が湧いて知恵を出していけると思っています。

お年寄りも頑固にならず、若い人達に迷惑をかけないよう、健康に注意して少しでも町づくりのお役に立てることがあれば協力していきたいと思っています。

いつもは静かな美深にも、このたびのような大樹が倒れるほどの台風が来るのだと驚いています。被害に遭われた方々にはお見舞いを申し上げます。

都会に行けば何もするところがなく、ボケてしまうように思っています。私も近くの八十歳のお年寄りを見習い、自分の出来ることはなるべくやろうと思っています。

また、私達コムカレッジ大学の大学祭や体育祭での元気なプレーを皆さんに見ただければお年寄りも喜びます。足腰が痛くても参加してくれるお年寄りもたくさんおり、感謝しております。これからは、



斑溪自治会
寺田 勤

高校を卒業して家の仕事を手伝いだして3年目、まだ分らない事がたくさんあり、後継者というよりは与えられた仕事をこなしている従業員に近い感じがします。卒業して1年目は、仕事も今みたいに忙しくなく、趣味や友達と遊ぶ時間が多くとれていたけれど、ここ2・3年しばらく休んでいた搾乳牛の飼育を再開して、毎日牛達に振り回されている時間が多くて、趣味や友

後継者として

に難しい事ばかりです。専門的知識がない分、ほとんが親に頼りつきりで、今は自分の考えを伝える事しかできません。今後、自分が経営者とい

う立場になった時、本当に経営できるのかという不安もあります。時々意見の違いから言い合いになる事や、しばらく口を開かない時もあります。最近の楽しみといえば、何ヶ月かに1回ヘルパーをとってもらい、自分の時間を持つようになりました。これからは、色々な知識を蓄え仕事を今よりできるように努力していきたいです。



編集後記

猛暑だった夏も過ぎ、昭和29年洞爺丸台風から本町にも50年ぶりの台風18号が通過し大きな被害となりました。被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。議会広報も早51号を発刊することができました。読まれる議会報とし努めていきますのでご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せ下さい。